

# 関東大震災100年 迫りくる首都地震 今、何をなすべきか？

令和5年8月20日(日)~9月10日(日)東京都慰霊堂／日本棋院／みらくルTV

## 第11回 首都防災ウィーク 連続22日間 全35番組

- 7月30日(日) プレイベント:鎮魂と希望の竹灯かりワークショップ(東京都慰霊堂)
- 8月20日(日) 開会式・竹灯かり点灯式(都立横網町公園)
- 9月 1日(木) 秋季大法要(東京都慰霊協会主催、東京都慰霊堂)
- 9月 3日(日) 第二回誰でも囲碁大会(日本棋院)
- 9月 5日(火) 国難級災害からの復興の備え~被災地と国土の事前復興(オンライン)
- 9月 9日(土) 鎮魂と希望の世界音楽祭(東京都慰霊堂)、屋外イベント(都立横網町公園)
- 9月10日(日) 防災フォーラム／大船渡支援！サンマ1000尾炭火焼き無料提供、屋外イベント

主催 首都防災ウィーク実行委員会 代表:東京都立大学名誉教授 中林一樹  
共催 (公財)東京都慰霊協会 (公社)全国市有物件災害共済会 NPO法人東京いのちのポータルサイトほか  
後援 内閣府政策統括官(防災担当) 国土交通省 東京都 墨田区 墨田区教育委員会 全国市長会 日本棋院ほか

◎印:現地ライブ+みらくルTV ◆印:みらくルTV(Zoom&YouTube)のみ ★印:日本郵便年賀寄付金助成事業

◎★プレイベント:7月30日(日)~8月10日(木)09:00~16:00 鎮魂と希望の竹灯かりワークショップ(慰霊堂)

▼制作ボランティア募集中(小学5年~大学生)

▼毎日、作業終了後に、ゲストのお話や演奏を聴き、楽しく交流。

ゲスト:中林一樹(首都防災ウィーク実行委員長)、浅野史郎(元宮城県知事)、市川啓一(危機管理アドバイザー)、大石亜矢子(シンガーソングライター(全盲))、岡田結美子(日本棋院六段)ほか

▼参加者には昼食と感謝状、プレゼントを差し上げます。

感謝状とプレゼントは、8月20日(日)18:00~19:10 開会式・点灯式において、中林一樹実行委員長から贈呈。



第9回首都防災ウィーク(2021年)

◎8月20日(日)18:00~19:10 開会式・竹灯かり点灯式(横網町公園)

主催者挨拶 中林一樹(首都防災ウィーク実行委員長(東京都立大学名誉教授))

各界ご来賓挨拶(依頼中) 総理大臣、国会議員、東京都知事、墨田区長、大船渡市長、近隣学校長ほか

ボランティアへの感謝状贈呈 竹灯かり点灯 記念ライブ

ご来賓、ボランティアの氏名、肩書、学校名などをホームページ、記念冊子などに掲載し、感謝の意を表します。

◎8月20日(日)~9月10日(日)特別記念展(東京都慰霊堂)

関東大震災100年/首都防災ウィーク10年/住まいづくりの勘所(UIFA JAPON(国際女性建築家会議日本支部))

◎8月21日(月)10:00~11:30 開幕SP1「東京と大船渡、心の連携」大船渡と東京を結ぶライブ(東京都慰霊堂)

◆8月21日(月)19:30~20:30 開幕SP2「第11回首都防災ウィーク~今年の見どころ」第11回出演者一同

◆8月22日(火)19:30~20:30 「首都防災ウィーク10年の歩み」歴代出演者一同

◆8月23日(水)19:30~20:30 「竹灯かり制作を振り返って」

WASEND(早大防災教育支援会)、横内康行(一社)福祉防災コミュニティ協会副代表理事、原香織(みらくルTV番組編成部長)ほか

◆8月24日(木)19:30~20:30

「囲碁・障害・防災を語ろう~第2回誰でも囲碁大会に向けて」コーディネーター:浅野史郎(元宮城県知事)

柿島光晴(誰でも囲碁大会実行委員長)

岡田結美子(誰でも囲碁大会副実行委員長、日本棋院六段)

竹DS(創作ソ口手話唄、聴覚障がい)

村上敬丈(大田区パーキンソン友の会副会長)

柴本礼(イラストレーター、高次脳機能障がい者家族)ほか



◆8月25日(金)19:00~20:00 「こもちゃんTV 土屋の防災~要介護者の防災を考える」



古本聡((株)土屋取締役・最高文化責任者、脳性麻痺)、原香織((株)土屋防災担当)、水島めぐみ(岡山市) こもちゃんTVは、土屋(介護会社)が提供するZoomを用いた双方向番組です。様々な分野で活躍されているゲストに活動内容をお話いただき、視聴者を交えて防災はじめ社会課題の解決に向けて考えます。ゲストの水島さんは、視覚

障害（ほぼ全盲）があり、ご主人、息子さんも同様に視覚障害者です。6月14日に（株）土屋防災委員会は、水島さんご一家の風水害災害時の対応訓練を実施しました。その様子は、地元TV局2つで報道されました。その様子を番組の中で紹介します。なお、水島さんは（株）土屋の社員です。

#### ◆8月26日(土)15:00-16:00「防災俳句で遊ぼう～関東大震災編・防災穴あき俳句」

関東大震災を詠んだ俳句が意外に少ない。不思議に思っていたら、当時から一大勢力であった高浜虚子が、花鳥風月を重視して、暗いもの、汚いもの、怖ろしいものは詠むべきではないという主張を展開し、当時から一大勢力であったホトギス派は、地震俳句を避けるようになったとの由。しかし、当時は虚子と並び称されていた俳人としての久保田万太郎は、積極的に関東大震災の句を詠んだことが、最近の久保田万太郎俳句の見直しと復権によって明らかとなって来た。小説や戯曲の影に隠れていた久保田万太郎の俳句を中心に関東大震災の俳句を特集！関東大震災の俳句によるクイズ「穴あき俳句」で、関東大震災に迫る！！藤村望洋（俳句・ARC セッション主宰）、松本野著、荻野黄味、中澤柚果、聖成崇夫、浅野史郎（俳号・シロ-）、板垣喜代子（俳号・清風）、竹DS（俳号・豆柴）ほか

#### ◆8月26日(土)19:30-21:00「耐震補強と家具固定が生命を守る」

2003年2月、創立直後のNPO東京いのちのポータルサイトが連続13日の耐震イベントを実施。以後、耐震補強は政府、自治体、メディアを巻き込む強力な動きになり、法改正が行われました。当時のメンバーが率直な思いを語ります。

藤村望洋（電通銀座ギャラリーイベント総括責任者） 鍵屋一（跡見学園女子大学教授） 寿乃田正人（イツ・コミュニケーションズ（株）・FMサルースチーム） 小田順子（文章の危機管理コンサルタント、（株）ことのは本舗） 木谷正道（NPO法人暮らしと耐震協議会理事長） ほか



#### ◆8月27日(日)～9月3日(日)「とろろさんの楽しい囲碁イラスト展」(日本棋院(市ヶ谷))

思わずにこっとする素晴らしい囲碁イラストがツイッターで掲載されています。制作者はとろろさん（大阪に住む聴覚障がいを持つ囲碁ファン）。9月3日（日）第二回誰でも囲碁大会に向けて、書き下ろしを含む作品を日本棋院で公開します。囲碁を知らない方も、きっとファンになります。



#### ◆8月27日(日)15:00-21:00「世界誰でも Zoom 囲碁大会」 出場者募集

▼囲碁は障がいや言語の壁を超えるユニバーサルデザインゲーム。世界 Zoom 囲碁対局は初めて。

▼運営チーム：柿島光晴（誰でも囲碁大会実行委員長、全盲）、古本聡（（株）土屋取締役・最高文化責任者、脳性麻痺）、中里利男（平塚盲学校囲碁ボランティア代表）、井上信之（日本棋院アトムネット支部事務局長）、武久喜代美（日本棋院小倉支部）、中村哲啓（高次脳機能障がいと囲碁の会）、青柳泰平（元東北大学囲碁部）、中川剛志（東京都特別支援学校教師）、木谷正道（日本棋院平塚支部長） ほか



#### ◆8月28日(月)19:30-20:30「We Are WASEND ～世界一受けたい防災授業～」 WASEND(早大防災教育支援会)

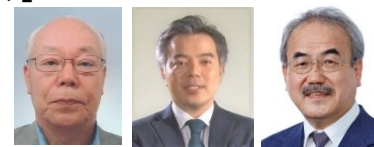
WASENDとは、2004年のインドネシア・スマトラ島沖地震を契機に設立された防災教育のボランティアサークルです。今回は本団体の活動のうち、えほん班と海外活動についてお伝えします。

えほん班では「世界中の子供に向けた防災絵本～気軽に学べて、しっかり伝わる～」というコンセプトのもと、絵本を制作しています。既に2冊作成しており、現在3冊目に取り組んでいます。海外活動は今年3月より再開されました。NPO法人「国境なき技師団」のご支援のもと、フィリピンの小学校での防災授業やフィリピン大学の学生との交流会を行いました。どちらの活動も我々にとって有意義な経験であり、皆様にもぜひ共有できたらと思います。



#### ◆8月29日(火)19:30-21:00「首都を襲う巨大水害—砂町地区水害避難支援システムづくり」

江東5区には250万人が暮らしている。関東大震災後に工業が発達し、工業用地下水汲み上げで地盤が沈下し、マイナス地域になった。首都直下地震が迫り、温暖化で台風や豪雨による水害の危険が増している。江東5区の水害ハザードマップには「ここにはダメ」と明示されているが、詳細な避難ルートは示されていない。



その対策の第一歩として、AIを活用した江東区の砂町地区水害避難支援システム開発が始まっている。今、闇の中に灯りが見えてきた。住民一人ひとりの自分事としての参加が必要となってきた。

▼中瀬勝義「大水害を考える—江東ゼロメートル地帯を歩く」江東5区マイナス地域防災を考える会、海洋観光研究所

▼有川太郎「砂町地区水害避難支援システム」中央大学海岸・港湾研究室教授、(国)港湾空港技術研究所客員研究員

▼中林一樹「多様な水害とみんなの水害時避難対策」東京都立大学名誉教授、明治大学復興・危機管理研究所客員研究員

◆8月30日(水)19:30-21:00 「シティコン海底山脈～事前復興と食料増産(漁業振興)の切札?」

都市の資源(コンクリート)を原材料に、不毛の海底に小山をつくります。表層に養分が上り、太陽光と二酸化炭素で光合成が行われ、魚が湧きます。既存のコンクリート建造物を有用資源として活用し、震災時には迅速な復旧に役立ってます。本構想提唱者の鈴木達雄(シティコン海底山脈研究会代表)と高橋正征(公社)日本水産資源保護協会会長、東京大学名誉教授)が縦横無尽に語ります。



◆8月31日(木)19:30-21:00 「視覚障害者への困基入門講座～盲学校生徒の命を守る防災への取り組み(1)」

▼柿島光晴(日本視覚障害者困基協会代表理事)、

▼片平考美(日本視覚障害者団体連合・青年協議会会長、静岡県立静岡視覚特別支援学校・小学部教諭)



◎9月1日(金)10:00-11:00 「秋季大法要」(東京都慰霊協会主催、東京都慰霊堂)

◆9月1日(金)19:00-20:00 「こもちゃんTV 災害時の補助犬の役割」

古本聡((株)土屋取締役・最高文化責任者、脳性麻痺)、原香織((株)土屋防災担当)、橋爪智子(社会貢献教育ファシリテーター・NPO法人日本補助犬情報センター専務理事兼事務局長)

こもちゃんTVは、土屋(介護会社)が提供するZoomを用いた双方向番組です。毎回、様々な分野で活躍されているゲストをお招きし、活動内容をお話いただき、視聴者を交えながら社会課題の解決に向けて考えて行こう、というのがその趣旨です。障害者を取り巻く問題、食糧問題、防災・減災の課題などに鋭く切り込んでいきます。



ゲストは、NPO法人日本補助犬情報センター専務理事兼事務局長の橋爪智子さんです。災害時における補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)の役割や訓練の方法について伺います。普段は、知ることの出ない補助犬の様子をお伝えします。

◆9月2日(土)09:00-10:30 「高次脳機能障がいと困基療法の可能性」

「高次脳機能障がい」は脳卒中や交通事故が原因で、記憶障害、失語症、感情が制御できないなどが起き、社会生活が困難になります。「新しいゲームは覚えられない」とされますが、大田区ではたくさんの方々が困基ボランティアと一緒に基を楽しみ、上達しています。

▼栗城優子(高次脳機能障がいと困基の会世話役)、柴本礼(イラストレーター、家族) & コウジ(当事者)、村上敬文(大田区パーキンソン友の会副会長)、中里利男(平塚盲学校困基ボランティア代表)、木谷正道(高次脳機能障がいと困基の会代表)ほか。



◆9月2日(土)15:00-17:00 「自然災害に備えて住まいづくりの勘所」UIFA JAPON(国際女性建築家会議日本支部)

多様な自然災害に見舞われるこの日本で、命を守り、被災を乗り越え、復興に向けて歩むために、今、どのように備えたら良いのか、住まいというシェルターはどうあれば良いのか、私たちUIFAJAPON(国際女性建築家会議日本支部)という、建築に関わる女性達で、足掛け3年かけて小冊子にまとめました。

「自然災害に備えて住まいづくりの勘どころ」という名称で、今年3月に発行しました。その内容をイラストで分かりやすく、編集メンバーがお伝えします。備えのヒントになれば幸いです。

森田美紀(UIFAJAPON会長) 宮本伸子(理事) 伊藤京子(副会長) 井出幸子(理事) 上田壽子(理事) 薄井温(理事) 加部千賀子(理事) 谷村留津(事業委員) 板東みさこ(会員) 松川淳子(相談役) 稲垣弘子(監事)

◎9月3日(日)10:00-16:00 「第2回誰でも困基大会(日本棋院)」参加者募集中

▼昨年の第一回には老若男女80人が参加し、20人が様々な障がいや難病(視覚障がい、聴覚障がい、高次脳機能障がい、脳性麻痺、ダウン症、自閉症、パーキンソン病、ジストニア)を持つ方々でした。今年は180人!

▼実行委員長: 柿島光晴((一社)日本視覚障害者困基協会代表理事)、副実行委員長: 岡田結美子(日本棋院六段)

▼応援棋士: 岡田伸一郎(日本棋院九段)、水間俊文(同八段)、信田成仁(同七段)、白石京子(関西棋院四段)。

◆9月4日(月)19:30-21:00 「首都地震～マンション住民が大ピンチ??」

建物は無傷でも、停電するとマンションは断水し、トイレが使えない!

昨年の防災フォーラムは大反響でした。マンション住民は必ずご覧ください。

鍵屋一(跡見学園女子大学教授、(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事)

山本耕平((株)ダイナックス都市環境研究所代表取締役、(一社)日本トイレ協会副代表、災害・仮設トイレ研究会代表幹事)



◆9月5日(火)13:30-16:30 「シンポジウム:国難級災害からの復興の備え～被災地と国土の事前復興～」

このままでは、破局的な事態が生じる。何をなすべきか、何ができるのか。

中林一樹(首都防災ウィーク実行委員長、東京都立大学名誉教授)

河田恵昭(関西大学社会安全研究センター長・特任教授、京都大学名誉教授)

福和伸夫(名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長)

加藤孝明(東京大学教授) ほか



◆9月6日(水)15:00-17:00 「誰一人取り残さない防災への取り組み」災害復興まちづくり支援機構

災害復興まちづくり支援機構は、各種分野の専門職(弁護士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、中小企業診

断士、税理士、公認会計士、弁理士、技術士、建築士、不動産鑑定士、土地家屋調査士、社会福祉士(ほか)の構成団体が加盟している土業連携団体です。

災害発生時、高齢者・障がい者・外国人といった要支援者に対しては、行政や民間の福祉団体による積極的支援がこれまで進められてきました。しかし、それで果たして要支援者の生命や生活は守られるのでしょうか？被災者支援に取り組んできた各界の専門家により、災害時に「誰一人取り残さない」ためには一体何が必要なのか、目からうろこが落ちる議論をお届けします。

#### ◆9月7日(木)19:30-21:00 「視覚障害者への困窮入門講座～盲学校生徒の命を守る防災への取り組み(2)」

▼柿島光晴(日本視覚障害者困窮協会代表理事)、

▼片平考美(日本視覚障害者団体連合・青年協議会会長、静岡県立静岡視覚特別支援学校・小学部教諭)



#### ◆9月8日(金)19:00-20:00 「こもちゃんTV～ 災害時用の非常食もフードリカバリーしよう」

古本聡((株)土屋取締役・最高文化責任者、脳性麻痺)、原香織((株)土屋防災担当)、ゲスト:植田全樹

こもちゃんTVは、土屋(介護会社)が提供するZoomを用いた双方向番組です。毎回、様々な分野で活躍されているゲストをお招きし、活動内容をお話いただき、視聴者を交えながら社会課題の解決に向けて考えて行こう、というのがその趣旨です。障害者を取り巻く問題、食糧問題、防災・減災の課題などに鋭く切り込んでいきます。



この回のゲストは、株式会社アスク フードリカバリー研究室長、(一社)日本フードリカバリー協会代表理事の植田全樹さんです。消費期限の近くなった災害備蓄品の食料を無

駄なく必要な人に届けるシステム作りについて伺っていきます。

植田さんは、9月9・10日の現地イベントにも出店します。

#### ◎9月9日(土)10:00-17:00【横網町公園】▼防災何でも相談・防災クイズ(災害復興まちづくり支援機構)

各種分野の専門家(弁護士・司法書士・行政書士・不動産鑑定士・中小企業診断士・社会保険労務士・技術士(ほか))による無料相談を開催します。ご家族向けには防災クイズや各種防災グッズの使用体験・実験コーナーもご用意しています。参加者には防災お役立ちグッズのプレゼントがあります。ぜひ奮ってご参加下さい。

#### ▼災害備蓄品もフードリカバリー(株式会社アスク フードリカバリー研究室長・植田全樹)

消費期限間近の災害備蓄食品を回収し、必要な人に届ける！繋がりでフードロスを減らそう！

#### ▼緊急タグアプリ(株式会社カムカム代表・小林由美)

災害時に声を出せない被災者に代わって、助けを求め病状と連絡先を伝えるアプリです。

#### ▼きいちゃんの災害避難ゲーム(あいち防災リーダー会・岡田公夫)

大地震発生！自宅から避難場所まで時間内に逃げきろう！家の中で、避難経路で様々な課題が立ちふさがる。事前防災の大切さを楽しく学ぶボードゲーム。あなたはクリア出来るかな。



#### ◎13:30-18:00 「鎮魂と希望の世界音楽祭」(東京都慰霊堂)▽印はオンライン出演

▽B S Kビッグバンド、スッチンピアノ学院(韓国)▽台北市立啓明学校(盲学校、台湾)▽LOVE SONGERS(気仙沼) 墨田区立両国中学校ブラスバンド部 新宿フルートアンサンブル(寿乃田正人ほか) 筑波大学視覚特別支援学校音楽科 U N O 工房ハンドベル(知的障がい) 片岡亮太(和太鼓、全盲) 山村優子(ホルン) 白井崇陽(ヴァイオリン、全盲) 大石亜矢子(シンガーソングライター、全盲) MIKUMI(ダンス、ダウン症) & 原香織(ヴォーカル) 心の唄バンド(木谷正道(ヴォーカル) 竹D S(創作ソロ手話唄(聴覚障がい)) 三木靖子(ピアノ) 丸山泰明(ボイスパーカッション)、佐野和子(波のパーカッション))

#### ◎9月10日(日)10:00-17:00【横網町公園】大船渡支援！サンマ1000尾炭火焼き無料提供

10時から何回かに分けて整理券を発行(防災フォーラム参加者にも整理券をさし上げます)。

▼防災何でも相談・防災クイズ(災害復興まちづくり支援機構)(9日を参照)

▼きいちゃんの災害避難ゲーム(あいち防災リーダー会・岡田公夫)(9日を参照)

#### ▼防災カフェ UIFA JAPON(国際女性建築家会議日本支部)

4年ぶりに開かれる「防災カフェ」です。慰霊堂前のテントで、冷たいお抹茶や温かいお抹茶を点て、美味しい和菓子と一緒にお願いします。今年は、私たちUIFA JAPON(国際女性建築家会議日本支部)が作成した、「自然災害に備えて 住まいづくりの勘どころ」という小冊子をプレゼントします。

宮本伸子(UIFA JAPON 理事) 井出幸子(同) 岩井紘子(同) 稲垣弘子(監事) 他

#### ▼おいしい！大船渡物産展(岩手三陸アンテナショップ三陸SUN)、飲食物出店多数

東高円寺駅から徒歩約2分の場所にある『三陸SUN』。大船渡出身者、大船渡に関わりのある方が気軽に交流できる場として、2017年3月オープンしました。首都防災ウィークには毎回出店。ふるさとの味が恋しくなったら、ござさあづまれ～！



#### ◎13:00-18:00 防災フォーラム(東京都慰霊堂) 関東大震災100年～私たちは今、何をなすべきか？

13:00-13:30 開会:▼口笛の調べ YOKO(口笛世界大会2018優勝者)

▼主催者挨拶:中林一樹(首都防災ウィーク実行委員会代表) / 住吉泰男((公財)東京都慰霊協会理事長) / 三富吉浩((公社)全国市有物件災害共済会常務理事) / 瀧澤一郎(NPO法人東京いのちのポータルサイト理事長)

13:30-14:10 ▼**基調講演** 中林一樹(首都防災ウィーク実行委員会代表、東京都立大学名誉教授)

14:10-15:40 ▼**防災フォーラム第一部「つながりあう防災～障がいや年齢を超えて」**

○コーディネーター：浅野史郎（元宮城県知事） 山中美枝子（大田区パーキンソン友の会副支部長、当事者、84歳）、大石亜矢子（シンガーソングライター、全盲）、白井崇陽（ヴァイオリニスト、全盲）、竹DS（創作ソロ手話唄、聴覚障がい）、柴本礼（イラストレーター、高次脳機能障がい者家族）、MIKUMI（ダンス、ダウン症）、古本聡（（株）土屋取締役・最高文化責任者、脳性麻痺）、岡本博（第一回首都防災ウィーク現地事務局長、ジストニア当事者）

15:40-18:00 **防災フォーラム第二部：首都の事前復興と日本の食料増産(漁業振興)～シティコン海底山脈の提案**

○講演：中林一樹（東京都立大学名誉教授）、高橋正征((公社)日本水産資源保護協会会長、東京大学名誉教授)

○コーディネーター：鍵屋 一（跡見学園女子大学教授） ○パネリスト：鈴木達夫（シティコン海底山脈提唱者）、西川智（JICA 国際協力専門員、東北大学災害科学国際研究所特任教授、共同提案者）、国会議員、研究者など

◎18:00 **閉会式・竹灯かり消灯式**⇒竹灯かりは翌11日に大船渡市に里帰りし、1月間、地元音楽祭会場を照らします。

【連絡先】 kitanimasa4@gmail.com 080-7991-4761(木谷) 公式サイト <https://www.shutobo.net/>

